



2月号

さやまだい

令和2年
2020年2月



さやちゃん

公民館・地区センターだより

まーくん

室町時代のお笑い「狂言」の鑑賞



松の絵の幕を張れば立派な舞台

12月3日(火)狭山台小学校体育館で4回目となる狂言の公演がありました。学校と狭山台地域づくりをすすめる会が協力して行う事業の一環としての開催です。人間国宝の大蔵流狂言山本東次郎門下の若い狂言師お二人(狭山市在住)をお招きして演目「しびり」の披露と子供たちの演技体験を楽しみました▼「しびり」とは「痺れ」のことで、主人から来客をもてなすための肴を買ってこいと言われたが、持病の「しびり」で歩けないと嘘をつく。嘘を見抜いた主人は「それでは食事の誘いには連れて行けないな」と言うので、「治った!」と言うので、それなら買い物に行けと言うとまた「しびり」が起きて、最後には主人に叱られるという演目▼鑑賞後、子供8人が舞台上がり歩く・走る・立つ・座る・泣く・笑うなどを実演しました。いくつかのせりふに節をつけリズムに合わせて全員で唱和し狂言の世界を味わいました。

狂言を見ての子供の質問…Q.何歳ぐらいから練習するのですかA.5歳が初舞台です。子供のころは学校から帰ったら遊びではなくてすぐに練習の日々でした。**Q.狂言の狂はなんで狂と書くのですか**A.出来た頃の考えで狂の語が当てられました。(狂とは滑稽、戯れの意)**Q.女の狂言師はいないのですか**A.現在いるのですが舞台ではやっていません。

鑑賞前に子供に聞いてみました…柿山伏は勉強したので狂言は少しわかります。狂言については少ししか知らないの今日見ていっぱい知りたい。狂言は人の奥ゆかしいところを表しているとても面白いものだと思う。

鑑賞後聞きました…狂言はよかった。楽しく体験もできた。昔のものも楽しい。

1年前に見た卒業生の中学生にも聞いてみました…めったに見られない狂言を見られてよかった。言葉も聞いていたらだんだん分かったし、昔のお笑いは面白かった。

見学者の声…地域にこのような伝統芸能を伝える方がおられるのは有難い。子供が本物を見ることができるようい機会になった。(牧野記者)



立つ・座る のおけいこ



子供と一緒に大人も楽しみました

そば打ち体験教室 開催報告 共催：男の大学院



そば粉は常陸秋そば(茨木産)

12月16日(月)9時30分から(12時頃まで)狭山台公民館調理室で、狭山台公民館と男の大学院共催の「そば打ち体験教室」が開かれ、7名(女性2名・男性5名)が受講されました。講師は男の大学院の海老澤正さんと15名の会員がフォローに努めました。受講生と関係スタッフの紹介、海老澤講師のレクチャーの後、4つの調理台に生徒とスタッフが分かれて付き、作業が開始されました▼そば粉8と強力粉2の割合でよく混ぜてふるいにかけ空気にさらす。つなぎは、ふのりを煮たてて溶かしたお湯を使う。硬さ柔らかさ加減をつなぎで調節しながら丸い玉(菊玉)に練りまとめ、その玉をビニールに包み、3回くらいひっくり返しながら足踏みし熟成させる▼次にのし台で生地を打ち粉を振りながら、大切なのし作業。両手を重ね、体重の重みで押すように伸ばして行きます。(厚さ、幅2mm位)▼次にめん棒に生地を巻きつけて四角、或は丸く厚さ均等に伸ばして行きます▼伸ばし終わったら、たっぴりと打ち粉を振りながらたたみ、そば包丁で切れる幅にして小口を揃え、こま板を使って均等に切ります。切ったそばは余分な粉を払って沸騰した湯にほぐしながら入れ、茹であがると水で洗います。打ち立てそばに麺つゆ、天ぷら、薬味を添えて完成!!



講師と試食しながらそば談義

受講生たちは別室に移動し、試食しながら海老澤講師と他のベテランそば打ち師へそば粉、打ち粉、加水、つなぎ、保存法などについて質問があり、丁寧に応答していました。**【受講生の声】**70代のご夫婦「うどんは長いこと打ってきたけど、そばはどうもうまく打てないので参加しました」「お互いに打って食べるのが楽しみだわ」60代の女性「お正月に来る孫たちへ打ち立てを食べさせたい」(葛西記者)



めん棒で薄く伸ばす

オカリナ ミニ コンサート♪ ~狭山台公民館登録団体 狭山台オカリナサークルによる発表~

【日時】3月28日(土)13:30開演(入場無料)【会場】狭山台公民館 ホール
【プログラム】宝島、翼をつけて翔びたとう、オリーブの首飾り 他 ぜひお待ちしております♪